

## 様式 3

### 令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 7 1 ） 学校名 豊田市立大沼小学校

#### 1 テーマ

伝統文化「雅楽」の音色が響く学校

－地域の力と小規模校のよさを生かす全校雅楽をめざして－

#### 2 ねらい

- ・大沼小学校区に伝わる「雅楽」の伝承活動を行ったり、地域について調べたりすることで「雅楽」の優しい音色が響く学校づくりを進め、日本古来の伝統文化のよさを感じ取る心豊かな児童の育成を図る。
- ・「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方と連携して活動し、地域への関心を深める。
- ・雅楽で用いる楽器の演奏練習を児童と教師が一緒に行うことで児童との親密な関係を築き、大沼小学校の雅楽を発展させようとする意欲を共に高める。
- ・地域の文化活動に積極的に参加するとともに、「雅楽」を通して学校、家庭、地域のつながりを一層深め、ふるさとに誇りを抱き、郷土を愛する心を醸成する。

#### 3 活動内容

- ・3～6年生は週1時間程度、1・2年生は各教科・領域から年間5時間程度練習時間を確保し、年間を通して練習に取り組んだ。
- ・年間を通して地域講師および地域ボランティアを招いて指導を仰ぎ、演奏技術の向上を図った。
- ・11月の学芸会の演目として雅楽発表を行い、保護者や地域の方、地域行政関係者に向けて練習の成果を披露した。
- ・2月に行った、お世話になった方への感謝の気持ちを表す「感謝の会」で、地域講師や地域ボランティアと一緒に演奏を行った。
- ・地域行政関係者や報道機関の取材を受け、大沼雅楽の記録映像や地元ケーブルテレビの番組で取組が紹介された。

#### 4 成果と課題

##### (1) 成果

- ・地域講師や地域ボランティアと共に年間を通して練習を行うことができた。特に今年度から、地域ボランティアとして子どもと一緒に練習に参加して下さる方が複数名加わり、地域と連携した雅楽練習の形が一歩前進した。
- ・学芸会や感謝の会での演奏発表では、多くの保護者や地域の方から称賛の声や感想をいただくことができた。
- ・心の相談員は、特別支援学級の児童への対応のほか、学校生活で困っている子の話を親身になって聞き、心の支えとなった。校内整備員の配置のおかげで、学校敷地内の草刈、校舎窓ガラスの掃除、ワックスがけ等、職員の負担を大きく軽減することができた。

##### (2) 課題

- ・地域と連携した雅楽の継承活動を、学校の教育活動とのバランスをとりながら、より一層進めていく。
- ・楽器の数量整備や更新、衣装のクリーニングなど、備品の計画的な整備と充実が必要である。

#### 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校だより（2回）やホームページ（20回）、校内掲示（年間通して随時）を通じて、雅楽の取組状況を紹介した。
- ・11月の学芸会や2月の感謝の会で、保護者や地域の方に演奏を披露した。
- ・大沼雅楽を取り上げた記録映像やケーブルテレビの番組に出演した。